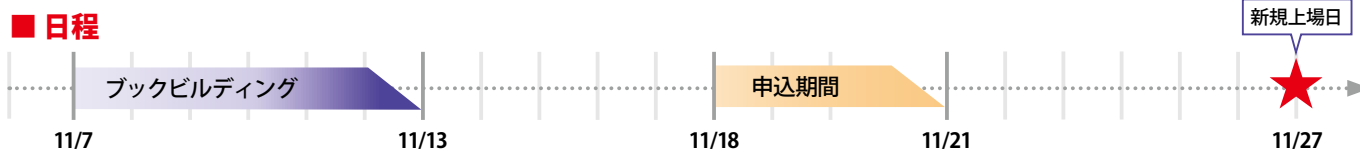


## IPO銘柄 CRI・ミドルウェア (3698・マザーズ)

コード	投資単位	公開株式数	仮条件 (上限 PER)	主幹事証券
3698	100株	公募: 11.00万株 売出: 16.60万株 (OA4.0万株)	2,100円~2,400円 (21.3倍)	エイチ・エス証券



### スマホアプリ開発用などの音声・映像特化型ミドルウェアを展開

#### ■ 事業内容

音声、映像に特化したミドルウェア「CRIWARE」を手掛ける。アプリ開発でクオリティの向上や開発工程の削減、開発難易度の低減などの効果をもたらす上、アプリを多くのプラットフォームに展開しやすくすることが可能。家庭用では日本の主要ゲーム開発会社に使用されており、スマートフォン（多機能携帯電話）向けでもネイティブアプリの増加に伴ってミドルウェアの需要が高まっている。遊戯機分野では、音声関連や映像関連のミドルウェアを提供。新規分野として家電・業務用機器や医療・ヘルスケア分野などでの展開も行っている。ミドルウェアの単一業態。従来中心だった遊戯機器向けに対し、足元ではゲーム向けの拡大が著しい。

#### ■ 特徴

CSK（現SCSK）子会社のCSK総合研究所が前身。マルチプラットフォーム展開の方針のもと、CSK総合研究所ミドルウェア部門が独立した。遊戯機器向けでの実績を生かしたソーシャルゲーム向けが拡大基調にある。家庭用ゲームでは「ワンピース アンリミテッドワールド レッド」、スマホアプリでは「AKB48 ついに公式音ゲーでました。」といったヒット作を含む全世界で2,800以上のタイトルに採用されている。

### アナリストコメント

#### ■ 定量分析

15年9月期の連結経常利益は前期比11.2%増の2億4,800万円を計画する。遊戯機器向けで培ってきた技術やノウハウがスマホアプリ向けで開花している。開発メーカーの多いスマホ向けでは同社ソフトの導入余地は大きく、中期的な業績拡大期待も高まっている。

#### ■ 定性分析

成長著しいスマホアプリ向けで活躍するミドルウェア開発企業ということで、時流に乗った案件として注目を集めている。足元の業績成長率はやや物足りないものの、ビジネスモデルの魅力だけで十分に買を集めることができそう。主幹事が大手でないことは、やや気がかり。

#### ■ 需給状況

仮条件の上限で試算した市場からの吸収金額は約7.6億円。ロックアップ条項の付されていないベンチャーキャピタル保有株があるが、これがすべて市場に流通したと仮定しても10億円程度で、需給面への不安は乏しい。スマホ関連として大量の買い人気を集めそう。 (小泉健太)

#### ■ 類似企業

CRI・ミドルウェア(3698・マザーズ)	予想PER21.3倍 (仮条件上限)
システナ (2317・東証1部)	予想PER15.4倍
ACCESS (4813・マザーズ)	予想PER114.6倍

#### ■ 引受証券

エイチ・エス証券、SMBC日興証券、SBI証券、岩井コスモ証券、岡三証券、東海東京証券、東洋証券

## 業績・財務指標

	売上高 (百万円)	前年比 (%)	経常利益 (百万円)	前年比 (%)	純利益 (百万円)	前年比 (%)	EPS (円)	1株あたり 年間配当金(円)
13年9月期(実績)	988	▲ 1.4	83	8.0 倍	53	49.5 倍	41.2	—
14年9月期(実績見込み)	1,146	16.0	223	2.7倍	141	2.7倍	110.0	—
15年9月期(会社予想)	1,286	12.2	248	11.2	156	10.0	112.9	—

※ 14年8月に株式分割(1株→200株)を実施。13年9月期のEPSは遡及修正

	発行済み 株式総数(株)	総資産 (百万円)	純資産 (百万円)	資本金 (百万円)	BPS (円)	自己資本比率 (%)	自己資本当期 純利益率(%)
12年9月期	6,447	929	759	33	589.4	81.7	0.1
13年9月期	6,447	1,041	823	33	638.9	79.1	6.7

※ 12年9月期および13年9月期のBPSは遡及修正

## 大株主上位(上場前)

	氏名または名称	所有株式数(株)	所有割合(%)
1	セガ	360,000	24.29
2	CRI・ミドルウェア従業員持株会	258,600	17.45
3	鈴木 久司	216,000	14.57
4	押見 正雄	159,400	10.76
5	CSK-VCサステナビリティ・ファンド 投資事業組合	120,000	8.10
6	古川 憲司	96,000	6.48
7	松下 操	51,000	3.44
8	鈴木 泰山	36,200	2.44
9	田中 克己	20,000	1.35
10	青山 幸雄	12,000	0.81

## 経営陣

役職	氏名
取締役会長(代表取締役)	古川 憲司
取締役社長(代表取締役)	押見 正雄
取締役 第3事業ユニット長	鈴木 泰山
取締役 第2事業ユニット長	松下 操
取締役 コーポレート本部長	田中 克己
常勤監査役	片山 勝博
監査役	内田 実
監査役	金成 壽及

# モーニングスターIPOレポートの読み方

## 特 徴

モーニングスター IPO（※1）レポートでは、日本国内の取引所に新たに上場する銘柄を取り上げ、モーニングスターが位置する中立的な第三者としての立場から IPO に関する情報を提供いたします。ブックビルディング（※2）が始まる前にレポートを提供することにより、IPO への参加を検討している投資家にとって有用な情報となるでしょう。モーニングスター IPO レポートには、企業名・コード・公開株式数など基本情報やブックビルディング期間・申込期間など IPO 日程のほか、モーニングスターの担当アナリストによるコメントを掲載いたします。

※1 IPO (Initial Public Offering)：新規株式公開。

※2 ブックビルディング：引受証券会社が機関投資家などの意見をもとに決定した仮条件を投資家に提示し、投資家の需要がどの程度あるかを把握することによって、マーケットの動向に即した公開価格を決定する方法。一般的に需要積み上げ方式と呼ばれる。

## 項目説明

### ■ 事業内容

新規上場企業の事業概略を解説します。主要製品やサービスのほか、セグメント別の売上高構成比率などを記載。新規上場時の事業の状況や、先行きの見通しなども交えて分かり易くお伝えいたします。

### ■ 特徴

新規上場企業の設立経緯から現在の事業環境、ビジネスモデルや事業の強み、顧客動向、業績内容、海外展開、経営陣など様々な観点から特筆すべきエッセンスのみを抽出し、掲載いたします。

### ■ 定量分析

新規上場時に開示される前期、前々期の業績実績と今期の会社計画を用い、業績の成長性や収益性、財務安定性の面から新規上場銘柄を分析いたします。

### ■ 定性分析

新規上場銘柄が持つ事業の特性や事業環境、セクター動向などを踏まえ、定性的な評価をするほか、足元の株式市場の状況などを考慮して、マーケットから見た新規上場銘柄に対する見方なども掲載します。

### ■ 需給状況

公募・売り出しの株数と仮条件をふまえ、市場からの吸収金額を試算するほか、足元の新興市場の動向、類似企業の株価推移、ベンチャーキャピタルによる保有株放出の可能性なども考慮し、上場初日の需給状況を予想いたします。

### ■ 類似企業

新規上場企業と同じ業種に属する競合他社や類似企業を取り上げて PER を併記いたします。PER の水準は初値の参考指標として有効です。

## 本資料のご留意事項

- ・本資料は投資判断の参考としての情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。銘柄の選択、投資判断の最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。
- ・本資料は、SBI証券が、モーニングスター株式会社が信頼できると判断して作成したレポートを有償で提供を受けておりますが、その正確性、安全性等について保証するものではありません。本資料に掲載された意見は、作成日における判断であり、予告なしに変更される場合があります。
- ・本資料の著作権、知的所有権等一切の権利はモーニングスター株式会社並びに Morningstar.inc に帰属しますので、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

## 手数料およびリスク等について

### 国内株式取引の手数料

- ・株式取引にあたっては、所定の手数料がかかります（手数料はお客様の取引コース、取引チャネル、取引プランや売買代金等により異なることから記載しておりません）。詳しくは、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法に係る表示又は上場有価証券等書面等をご確認ください。

### 国内株式取引のリスク情報について

- ・国内株式の取引は、株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。
- ・信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、時として多額の損失が発生する可能性を有しています。
- ・信用取引の対象となっている株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、その損失の額が、差入れた委託保証金額を上回るおそれがあります。

### 留意点

- ・取引コースや商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、ウェブサイト、等をよくご確認ください。または最寄の取扱店までお問い合わせください。
- ・最終的な投資判断は目論見書の内容をご確認ください。目論見書はSBI証券のホームページで入手いただけます。

商号等：株式会社 SBI証券 金融商品取引業者  
登録番号：関東財務局長（金商）第 44 号  
加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会